

令和8年度当初予算編成方針

1 本市の財政状況

本市の令和8年度の財政見通しは、地方財政対策等の詳細が明らかでない現段階において、的確に予測することは困難であるが、歳入面では、賃金上昇等の影響により市税が増加する見込みであるとともに、歳出の増に伴う地方交付税の増加も見込まれている中、暫定税率廃止などの税制改正の動向による影響を注視しながら、インフレ局面における一般財源の有効的な活用が求められています。

一方、歳出面では、いわき再起動の第2幕として、「まちづくりの経営指針」に基づく取組みのほか、公共施設等の老朽化対策や激甚化・頻発化する自然災害への防災・減災に向けた公共事業の推進に加え、労務単価や資材単価の上昇に対する適切な対応が求められている中、市民利便性の向上や業務の効率化等に資する構造改革の取組みを加速化させるためには、多額の財政需要が必要となることから、財政調整基金等を取り崩さざるを得ない状況となっています。

2 令和8年度予算編成に係る基本方針

市制施行60周年を迎える令和8年度の予算編成にあたっては、100年目のいわきの姿を思い描きながら、様々な分野の挑戦を力強く支えていくことで、ウェルビーイングなまちづくりを実現するため、次の2点の基本方針に基づき予算編成に取り組みます。

① 「まちづくりの経営指針」に基づく政策の推進

「まちづくりの経営指針」のもと、人口減少や少子高齢化、担い手不足、公共施設等の老朽化、頻発・激甚化する自然災害、地域の活力の低下など、本市をとりまく様々な事象に対し、すべての分野でベースとなる「人づくり」を着実に推進します。

- ◎ 次世代を育てる 【教育】 【子育て】 【担い手】
- ◎ 命・暮らしを守る 【防災】 【医療/健康】 【暮らし】
- ◎ まちの魅力を高める 【まち】 【環境/GX】 【地域交通】
- ◎ 豊かさを創る 【産業】 【農林水産】 【観光・文化・スポーツ】
- ◎ 構造改革・DX

② 将来にわたり持続可能な行財政運営の確立

中期的な財政見通しに立ち、人口減少社会にあっても、行政資源を課題の解決と未来への投資に再配分することで、将来にわたり持続可能なまちづくりを推進します。

- ◇ 市税及び税外収入の収納率の向上を図るほか、未利用財産の処分、さらには、基金の効果的な運用に取り組むなど、自主財源の確保について積極的に取り組みます。
- ◇ 市債の発行については、可能な限り抑制する。発行する場合においても、事業の必要性や費用対効果、適正な事業規模等について十分に検討したうえで活用します。
- ◇ 施策・事業の予算化に際しては、各部各課、職員一人ひとりが、いわき市改革のエンジンであるという意識をもって、従来の発想にとらわれず改善や見直しを徹底的に進めます。